

藻場と保全の取り組み (No. 18)

藻場の名称	笠岡市高島地先		
海域(府県)名*1	備讃瀬戸(岡山県)	エリア名*1	笠岡諸島
藻場の面積	2.42ha 出典:【岡山県(平成27年度 藻場分布状況調査)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	高島は、笠岡諸島のうち最も本土に近接した島であり、かつては島の周辺にアマモが繁茂していた。 笠岡諸島のうち最も本土に近接した島であり、本土及び諸島の漁師たちが協力して再生に取り組みやすい場所でもある。		
保全の取り組み名称	アマモ場再生事業		
実施団体名	笠岡地区漁業連絡協議会(大島美の浜漁協・笠岡市漁協)、豊かな海づくり協力会(幹事:生活協同組合おかやまコープ、天野産業株式会社 会員:神島 寺間・見崎里浜づくり)、特定非営利活動法人里海づくり研究会、笠岡市、岡山県		
連絡先住所	〒714-8601 岡山県笠岡市中央町1番地の1		
代表者名	笠岡市農政水産課長 江原 広一	Email	nouseisuisan@city.kasaoka.lg.jp
団体会員数	一名	HP	
(活動の概要) 高島を含め笠岡市地先は、かつて広範囲にアマモが繁茂し、様々な魚介類が生息する豊かな海であった。近年、海域環境の回復によりアマモ場は徐々に再生してきているもののかつての豊かな海にまでは回復していない。そこで、当時の豊かな海を取り戻すために、平成28年に笠岡地区漁業連絡協議会(大島美の浜漁協・笠岡市漁協)、豊かな海づくり協力会(幹事:生活協同組合おかやまコープ、天野産業株式会社 会員:神島 寺間・見崎里浜づくり)、特定非営利活動法人里海づくり研究会、笠岡市、岡山県がアマモ場再生活動に係る連携協定を締結し、幅広い参加者による再生活動を実施している。			
(主な活動内容) 種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()			
(最近の活動実績) ・平成28年6月18日 アマモの種の採取 参加者 約70人(漁業者、おかやまコープ組合員、地元企業、行政など) ・平成28年10月11日 アマモの種の選別及び播種 参加者 約50人(漁業者、おかやまコープ組合員、地元企業、行政など) ・平成29年6月17日 アマモの種の採取 参加者 約170人(漁業者、おかやまコープ組合員、地元企業、市場関係者、行政など) ・平成29年10月7日 アマモの種の選別・種まき 参加者 約70人(漁協組合員、おかやまコープ組合員、小学生、地元企業、行政など)			



*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
<p>○野鳥: -</p> <p>○藻場の生き物: ワレカラ類、ヨコエビ類、ゴカイ類、アオリイカ、カミナリイカ、タツノオトシゴ、スズキ、クロダイ、メバル、ボラ、イシガニ、クルマエビ等</p> <p>○海藻(海草): アマモ、ワカメ</p> <p>○植物: -</p>	
希少種の特徴等	
不明	